Meta「Muse Wonder」の知財実務への活用とガバナンス

Muse Wonderの知財業務における活用可能性と、導入にあたって遵守すべき法的リスク・管理指針を提示する。

知財実務における技術革新と活用領域



Meta発表の「Muse Wonder」は、長文文脈保持と自己修正機能を備えた推論モデル。知財業務効率化の期待と、学習機能による情報漏洩や精度限界への服格なガバナンスが不可欠。



クレームチャート自動生成

多数の特許公報や審査経過を分析し対比表を迅速作成。



ソースコードからの明細書ドラフト生成

リポジトリ全体から特許の実施例や請求項を自動展開。

法的リスクと運用のガバナンス指針



「Contributor mode」の常時OFF化を義務付け

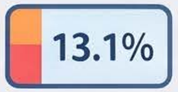




学習利用による未公開発明の漏洩と新規性喪失を防止。



完全適合率13.1%に伴う人為的レビューの必須化



専門家による厳格な目視ファクトチェックを義務化。

Gemini Notebook